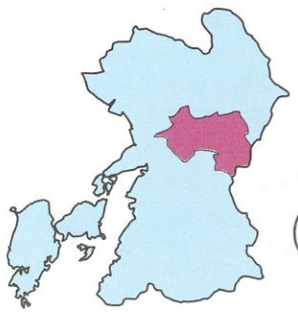
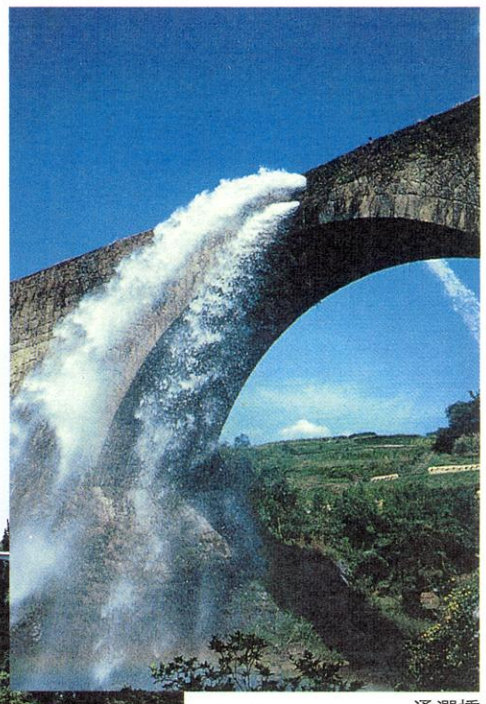
地域の動き シリーズ⑦

自然と歴史をいかした観光レクリエーションと定住の場づくり
上益城地域



上益城地域は県央に位置し、九州山地の原生林をはじめ、高原や渓谷、地域一帯を潤す緑川等、緑と水に恵まれています。また、歴史的文化遺産として、通潤橋に代表される石橋群や清和文楽、甲佐の鮎やな等、多くの観光資源を有しています。

このため、「自然と歴史を生かした観光レクリエーションと定住の場づくり」を地域整備の目標に掲げ、積極的に関連の施策・事業を展開しているところです。



通潤橋

鮎の瀬大橋（仮称、完成予想図）

■地域発展を支える基盤づくり

産業・経済発展の根幹をなす道路網整備では、九州横断自動車道延岡線（御船町・矢部町間）が、昨年、整備計画区間に昇格し、着工に向け大きく前進しました。

また、益城熊本空港インターの建設をはじめ、主要国・県道、広域農道等の整備も進めています。

さらに、農道整備の一環として、矢部町緑仙峡に、平成十一年完成を目指し「鮎の瀬大橋（仮称）」の建設を進めています。この橋は、高さが百四十メートルと日本最大級を誇り、くまもとアートポリス事業にも参加する非常に美しい橋で、新たな観光名所としても期待されています。

■活力ある産業づくり

当地域には、テクノリサーチパークなどテクノポリスの拠点がありますが、現在、地方都市では最大級となる熊本産業展示場（グランメッセ熊本）が平成十年四月オープンを目指して益城町に建設中です。益城熊本空港インターの建設と併せて、新たな産業・交通の交流拠点として大きな期待が寄せられています。

益城熊本空港インターチェンジとグランメッセ熊本（完成予想図）

■広域観光ルートの確立

御船・松橋両インターから矢部を通って阿蘇高森へ至る道路を「阿蘇観光サザンルート」と銘打ち、観光PRを展開しています。今後も、各町村や他圏域と連携を図りながら、ハード・ソフト両面からの受入体制づくりとともに、イベントや広報活動を通じて、地域のイメージアップに努めていきます。

くまもと物語 ⑤

農村景観は熊本の原風景。みんなで守り、伝えていこう。

山あいの農村で出会った風景――。

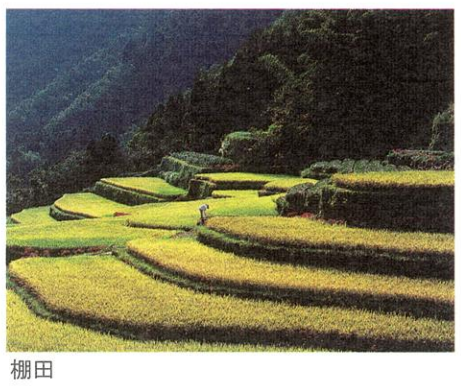
急な斜面に階段のようにつくられている棚田。形や大きさが異なる田んぼが幾重にも積み重なって、不思議な模様を描き出しています。収穫を間近にひかえ黄金色に輝く稲穂。かたわらでは真っ赤な彼岸花が風にゆれています。

熊本には、棚田をはじめ、美しい農村の景観がまだ数多く残っています。今回のくまもと物語は、何となく懐かしく、温かい気持ちにしてくれる、そんな農村景観について取り上げます。

■人の営みがつくりあげた農村景観

農村や里山には昔ながらの景観がたくさん残されています。でもこれらの景観は独りでにできたものではありません。長い年月をかけて、人間の営みの中でつくられてきたものなのです。

例えば、棚田は、平たんな土地が少なく稲作が難しかった山間部で、少しでも耕作地を広げ、多くの米を収穫しようと、昔の人々が山の斜面を切り開いて生まれました。地形にあわせるため、大きさや形が異なる田が織り重なって、偶然に不思議な美しい姿をつくり出しています。



棚田

田の周りを彩る彼岸花も決して自然に生えたわけではありません。彼岸花は、根はすりつぶして水にさらせば、でんぷんを取り出すことができ、また、打ち身、腫れなどに効く民間薬としても活用できます。昔の人は、万一の飢きんや病気に備えて、食糧や薬になる彼岸花を植えていたといいます。今、あぜ道や棚田ののり面で見かける彼岸花のいくつかは、その時代の名残りかもしれません。

このように、農村や里山の風景は、農業、人の暮らしと深いつながりでできています。そして、その環境の中で農村文化が培われてきました。昔の人が少しでも多くの収穫を得て、生きていくための智恵と努力の結果が、美しい景観を生み、豊かな文化を生み出してきたのです。人と自然が調和するこの農村文化があったからこそ、今日の熊本の美しい姿が存在するともいえるでしょう。

■景観、文化の伝承は農業保全から

でも、その農村景観や文化が少しずつ失われています。忘れてならないのは、農村の景観や農村文化は人の努力によって守られているということです。今、熊本県内では、農家の高齢化や後継者不足の問題などからやむなく放棄された農地が少なくありません。耕作をやめた農地は急速に荒廃し、それと同時に古くから受け継がれてきた文化も消えようとしています。

美しい農村の景観や文化を守ることと農業の営みを切り離して考えることはできません。先人から受け継がれてきた大切なものを未来に残していくためにも、地域の素晴らしさを見直し、農業・農村の持つ意味や役割をもう一度みんなで考えていく必要がありそうです。

県広報案内

広報誌

「彩り」（熊本の豊かさをお伝えします。A4判・28ページ）
- 年間四回（四月・七月・一〇月・一月）発行
- 愛読者募集中です。送料として千八十円分（四回分）の郵便切手を同封のうえ、左記あて先へお申し込みください。

テレビ

RKK「月刊くまもと情報」
- 毎月一回

TKU「くまもと探県隊」
- 毎週土曜日　一二時五五分～一三時

KKT「クローズアップ熊本」
- 年間一〇本（三〇分）

KAB「くまもとウィークリー」
- 毎週月曜日　一九時五四分～二〇時

ラジオ

RKK「ふれあいくまもと」
- 毎週月曜日～土曜日　一〇時一五分～一〇時三〇分

FMK「県庁ダイアリー」
- 毎週月曜日～金曜日　七時三〇分～七時三六分

CITY FM 県政番組「CASUAL・WALKING」
- 毎週土曜日　二一時五〇分～二二時

読者の方々のご意見をお待ちしています。

あて先――
〒862-70
熊本県広報課「県からのたより」係
※県庁の住所は記入不要です。
☎096-385-2096
FAX 096-386-2040

平成11年開催・第54回国民体育大会

人、光る。くまもと未来国体
1999
平成11年開催
［夏季大会］9月11日（土）～14日（火）
［秋季大会］10月23日（土）～28日（木）

ゆたかさ多彩 生活創造 くまもと
09 総 広
③ 003
この印刷物は再生紙を使用しています。